月刊

事務局だより



第 183 号(令和 8 年 10 月)

公益社団法人　高松市シルバー人材センター

本 部 事 務 局　　電話　８３１－９４１０
南部地区センター　〃　８７９－８８３３
東部地区センター　〃　８４５－４１２２
国分寺地区センター〃　８７５－０２０２

（令和８年度から令和 10 年度）



全国統一スローガン『声掛けは　仲間を守る　いのち綱』



（埼玉県 鳩山町シルバー人材センター会員 作）

「第 38 回シルバーフェア」 を開催しました！！

10 月 15 日（木）～16 日（金）の 2 日間、高松市仏生山交流センター「ふらっと仏生山」において「第 38 回シルバーフェア」を開催しました。当日は、水墨画や写真、書道、手芸品など会員作品を展示すると共に、音楽隊の演奏、襖・障子・網戸の張替え実演、のし袋筆耕サービス、足もみ健康教室、AI による姿勢チェックに加え、新たに煎茶提供と折り紙教室、粘土でバラの花作りコーナーを設けました。また 2 日目に隣の調理室で未入会者を対象とした「お菓子作り教室」を同時開催しました。会場にお越しいただいた会員の皆様、そして、運営にご協力いただいた広報専門部会委員、役員、表具・筆耕グループ、同好会の各皆様、ありがとうございました。







当センターのホームページが新しく生まれ変わります！

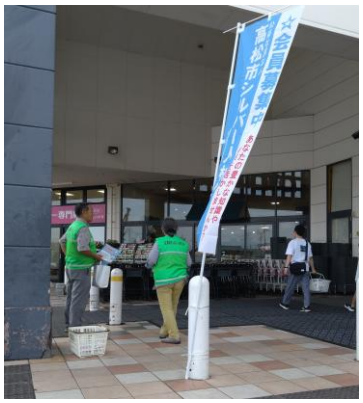
現在、11 月中を目途に、当センターのＨＰ（ホームページ）のリニューアルに向けて作業中です。現行のＨＰはスマホ対応になっていないため、スマホで見た場合、画面が小さい、業者を通じた更新のため、タイムリーに反映できない等を踏まえ、新しく更新する事としました。更新を通じて外部の方々にも広く発信して、会員拡大にもつなげていきたいと思います。＜主な変更内容＞

１．スマホに対応出来ますので、従来に比べてスマホでの画面が見易くなります。
２．就業情報を掲載します。
３．ホームページ上から「Smile to Smile」の登録が可能です。
４．地域班活動、女性専門部会活動、サークル活動等のコーナー新設を検討しています。

街頭啓発活動を実施しました!!

9 月 26 日（土）にマルナカパワーシティレインボー店、マルヨシセンターウィングポート店、マルヨシセンター国分寺店、マルナカ八栗店にて、会員募集等のチラシやティッシュを配布して、シルバー人材センター事業の啓発を一斉に実施しました。ご多忙にもかかわらず、参加された会員の皆様、大変お疲れさまでした。





インフルエンザ・大流行中

今年は、全国的に例年（12 月～）より早く（8 月末～）流行しています。香川県内のインフルエンザ患者数は 9 月 21 日～27 日時点の 1 医療機関あたり、3.09 人となり、過去 2 番目に早い流行入りが続いており、土庄中学校をはじめ、複数の小中学校で学級閉鎖が相次いでいます。

重症化を防ぐためにも、なるべく予防接種を受けるようにしましょう！また、うがい、手洗い、人込みでのマスク着用に加えて栄養管理、睡眠管理も大事です！！





本部事務所移転に関するアンケート結果のご報告

令和 8 年1月 19 日から 2 月 20 日の期間、旧高松市地区の会員 994 名の皆様を対象にアンケートを実施し、685 件の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。大変遅くなりましたが、結果は別紙のとおりです。

１１月行事予定



日	曜	行　事	場　所・時　間
4	水	就業相談（本部）	本部　9時～12時
10	火	入会説明会（南部） 「足ツボ板踏み」健康教室同好会	南部地区センター　10時～12時 本部　10時～
12	木	書道教室「筆まめクラブ」 ボウリング同好会	本部　10時～ MG ボウルパワーシティ屋島店　13時30分～
13	金	音楽隊	コープ太田店　13時半～
17	火	入会説明会（本部）	教育会館　10時～
18	水	カラオケ同好会 県シ連・剪定技能講習（18～20 日）	ビッグエコーレインボー店　13時～ 座学（連合）実技（杣場川公園）9：45～
19	木	入会説明会（東部）	牟礼コミュニティセンター　10時～
20	金	お茶同好会	本部　10時～
24	火	「足ツボ板踏み」健康教室同好会	本部　10時～
25	水	ゴルフ同好会 配分金支払い日	サンライズヒルズカントリークラブ ー
27	金	音楽隊	コープ太田店　13時半～

就業報告書は、皆さんの大事な配分金の基です。月末締ですが、作業終了後速やかに提出下さるようお願いします。　**★提出期限は、１１月４日（水）となっています**

本部事務所移転に関するアンケート

結果のご報告

会員の皆さまからお寄せいただいた回答をまとめました

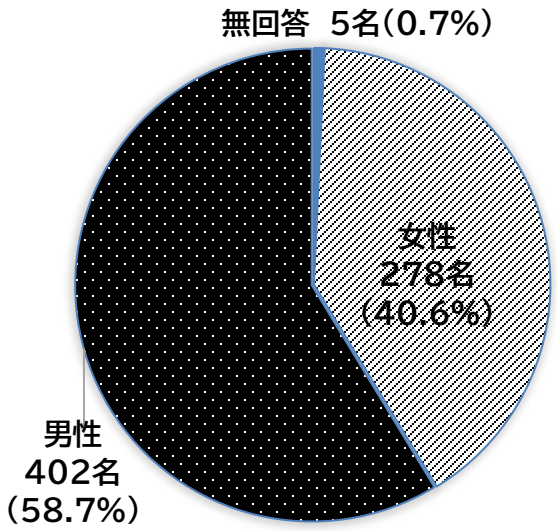
対　象	送付数	回答数	回答率
旧高松市地区の会員	994 件	685 件	約 68.9%

実施期間：令和 8 年 1 月 19 日～2 月 20 日（1 月 16 日発送）

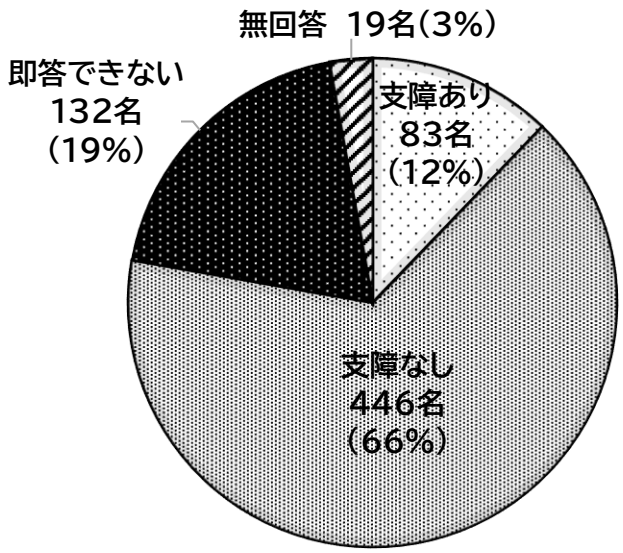
本部事務所の移転について、旧高松市地区の会員の皆さまを対象にアンケートを実施し、685 件の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

1　郵送によるアンケート回答者について

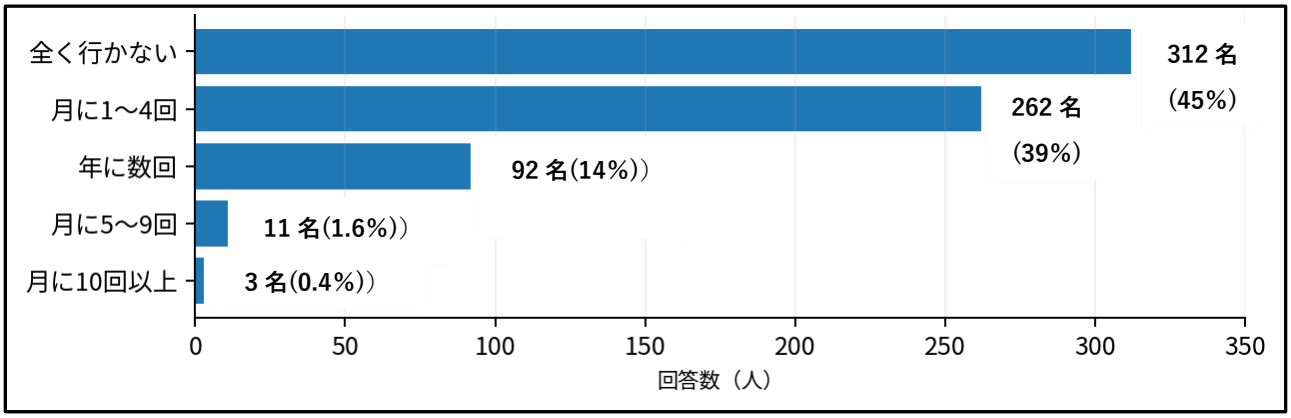
【回答者の男女別（６８５名回答）】



【移転した場合の支障（６８０名回答）】

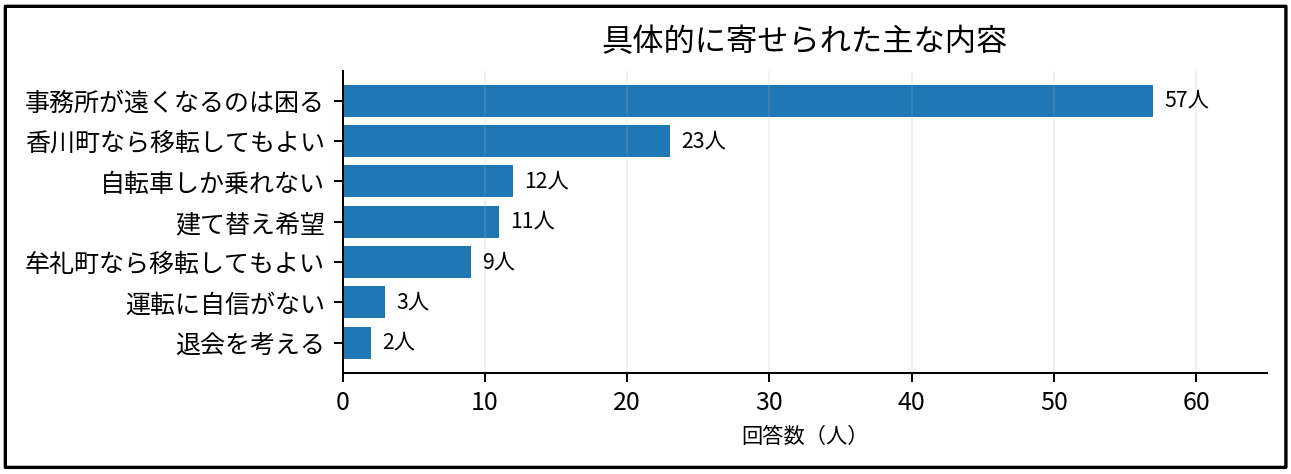


2　本部事務所への来所回数　（680 名回答）



※「全く行かない」が 312 人、「月に 1～4 回」が 262 人で、680 人の回答者の約 84%を占めました。

3　移転に伴う支障・具体的なご意見　（117 名回答）



※「事務所が遠くなるのは困る」「自転車しか乗れない」「運転に自信がない」など、交通や距離に関する　不便・不通のご意見が 72 名で約 62％を占めています。

4　本部事務所に来所された会員へのアンケート調査（52 人）

項目	回答内容	人数（割合）
来所目的	就業報告書提出	40 名（76.9％）
交通手段	自家用車 自転車 バイク 徒歩	41 名（78.9％） 6 名（11.5％） 3 名　（5.8％） 1 名　（1.9％）
来所頻度	月に 1～4 回	45 名（86.4％）
移転について	支障なし	27 名（52％）

5　アンケート結果のまとめ

今回のアンケートでは、旧高松市地区の会員の皆さま 994 名に郵送でアンケートをお送りし、685 名（回答率 68.9％）からご回答をいただきました。
本部事務所の移転については、「支障なし」と回答された方が 446 名（66％）であった一方、「支障あり」と回答された方も 83 名（12％）おられました。また、「即答できない」と回答された方も 132 名（19％）おられ、移転についてさまざまな考えがあることが分かりました。

また、実際に本部事務所へ来所されている会員 52 名にも聞き取りを行ったところ、就業報告書の提出を目的に来所される方が多く、自家用車を利用されている方が多い一方、移転に「支障あり」と回答された方も 14 名（27％）おられました。このことからも、本部事務所を利用される会員の中には、事務所の場所が変わることに不安や負担を感じる方がいることが、うかがえます。

郵送によるアンケートと来所者への聞き取りを通じて、事務所までの距離や交通手段、運転への不安など、会員の皆さまが感じているさまざまな不便や不安が明らかになりました。

こうした皆さまからいただいたご意見を踏まえ、本部事務所の移転については、いったん白紙に戻したうえで、現在の事務所を今後も活用していくことを含め、会員の皆さまにとってより現実的で無理のない方法について、改めて検討していくこととしました。

今回お寄せいただいた一つひとつのご意見を大切にし、今後の検討に活かしてまいります。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。　　高松市シルバー人材センター　本部事務局



No.31

令和8年10月号

公益社団法人高松市シルバー人材センター



安全就業ニュース





— 全国統一スローガン —

令和８年度から令和１０年度まで

声掛けは仲間を守るいのち綱





声を掛け合い、安全な職場環境を作りましょう

9･10月 安全強化月間

—— 本センター独自 ——

9月・10 月は「安全強化月間」です

安全な就業は、特別なことをするのではなく、**「ちょっとした確認」と「声掛け」から始まります。**

いつもの仕事、いつも現場、いつものやり方。 その“**慣れ**”が、「まあ、いいか」「これくらいなら」と思ってしまいがちになり、思わぬ事故につながることがあります。この機会に、普段の作業をもう一度振り返り、「**無理をしない・焦らない・声掛けをする**」ことを意識しましょう。

会員の皆さんが安全に就業できるよう、繁忙期の9月・10月を「安全強化月間（本センター独自）」として、本年度も取り組みます。**安全は、みんなでつくるもの。事故ゼロを目指しましょう！**

今月の事故報告　（令和８年９月）

傷害事故報告（１件）　**賠償事故報告（１）**



※ 傷害事故（通勤途上）が１件、賠償事故（除草）が１件ありました

令和8年9月30日現在

		令和８年度　累計						令和７年度　同月累計					
		件数計	事故の程度			性別		件数計	事故の程度			性別	
			死亡	入院	通院	男性	女性		死亡	入院	通院	男性	女性
傷害	就業中	4　(0)	0　(0)	1　(0)	3　(0)	1　(0)	3　(0)	1	0	0	1	1	0
	就業途上	1　(1)	0　(0)	0　(0)	1　(1)	1　(1)	0　(0)	0	0	0	0	0	0
	計	5　(1)	0　(0)	1　(0)	4　(1)	2　(1)	3　(0)	1	0	0	1	1	0
		件数計	仕事の内容			性別		件数計	仕事の内容			性別	
			剪定・伐採	除草	清掃	男性	女性		剪・伐	除草	清掃	男性	女性
賠償		3　(1)	1　(0)	2　(1)	0　(0)	3　(1)	0　(0)	9	0	8	1	9	0

（　）は当月報告分

令和8年9月　傷害事故報告分（1件）

No.	性別（年齢）	仕事内容 / 事故の程度	事故の状況	事故の原因	入院/通院 傷害程度
1	男（69）	マンション管理（就業途上） 左足親指骨折	細い歩道を自転車で走行中(帰宅途中)、前方からの自転車を避けようと、脱輪し転倒	歩道では、いつでも停止できる速度で走行する。安全なすれ違いが困難なときは、一時停止し、歩行者を先に通すなど無理に走行しない	通院

令和8年9月　賠償事故報告分（1件）

No.	性別（年齢）	仕事内容 / 破損物件	事故の状況	事故の原因
2	男（76）	草刈 窓ガラス破損	草刈作業中、ブルーシートで養生していたが、ブルーシートの端が風でめくれたことにより、ガラスが割れたと思われる	作業前にブルーシートの固定状況を十分に確認し、風でめくれないよう確実に固定する。また、風が強い場合は作業を中断し、養生の状態を再確認するなど、飛散防止対策を徹底する。



事故は、作業の“ちょっと前”に起こりやすい！

～「まあ、いいか」「このくらいなら」 と、その油断が事故につながります～

8月号では、「作業の前の“ちょっと前”に起こりやすい」をお伝えいたしました。

今月号はその続きとして・・・



慣れている仕事ほど、“ちょっと待って！”

～「いつもの仕事」「いつもの現場」「いつものやり方」その“慣れ”が事故につながります～

「去年の自分」と「今年の自分」は同じではありません。年齢とともに、体力・バランス・反応速度など少しずつ変化してきます。「出来なくなった」のではなく、「やり方を変える時期が来た」と考えましょう。

①　いつもの現場だから

ついやってしまうこと

何度も来てるから、確認は大丈夫。



こうすると安全！

今日の現場の様子が、変わっていないか（落ち葉・段差・濡れている場所）など、しっかり確認する



②　いつもの道具だから

ついやってしまうこと

いつもやってるから点検は省略で。



こうすると安全！

使う前に点検！（モップのほつれやバケツの割れ）

※小さな異常が大きな事故（転倒やけがの原因につながります



③　いつものやり方だから

ついやってしまうこと

いつも同じやり方で落ち葉やごみを集めている。速さを重視しているかも…



こうすると安全！

その場所に合った道具や方法に変えることで、身体への負担も減り、きれいで安全になる。



④　いつもの仲間だから

ついやってしまうこと

言わなくてもわかるだろう。声掛けはしなくても大丈夫。



こうすると安全！

「動かしますよ」「そこは危ないから気を付けて」など、声をかけて合図を確認

※思い込みや独断は、事故に繋がることがあります



安全が、何より大切です



安全は、特別なことでありません。**「気づき」**と**「ひと手間」**が
あなたと仲間を守ります。一人ひとりが意識することで、事故は防げます
今月も元気に、安全就業をよろしくお願いします！！

